

様式第1号（第4条関係）

令和4年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成金交付申請書

令和4年5月24日

（あて先）

さいたま市長

所在地 埼玉県さいたま市南区南本町1-5-9

団体名 特定非営利活動法人

子育て応援隊むぎぐみ

代表者氏名 高濱 正伸

注 署名によらない場合は押印してください

下記により、令和4年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成金（一般助成事業・団体希望助成事業）の交付を受けたいので、さいたま市市民活動及び協働の推進助成金交付要綱第4条の規定により、関係書類を添えて申請します。

記

- 1 助成金交付申請額 金 488,000 円
- 2 事業計画書
- 3 事業収支予算書
- 4 団体概要
- 5 添付書類



事業計画書

団体名	特定非営利活動法人子育て応援隊むぎぐみ
-----	---------------------

* 事業の概要	
事業の名称	*この事業は、何という名前ですか？ Shining Hearts' Party 20
事業の分野 とその概要	*この事業の分野は、どのような分野ですか？ <input type="checkbox"/> (四角) に <input checked="" type="checkbox"/> (チェック) を入れてください。 また、この事業を文章で短く言い表すと、どのようになりますか？ (100字程度)
	事業の分野 <input type="checkbox"/> 保健・医療・福祉 <input type="checkbox"/> 社会教育 <input type="checkbox"/> まちづくり <input type="checkbox"/> 観光 <input type="checkbox"/> 農村漁村 <input checked="" type="checkbox"/> 学術・文化・芸術・スポーツ <input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 災害救援 <input type="checkbox"/> 地域安全 <input type="checkbox"/> 人権・平和 <input type="checkbox"/> 国際協力 <input type="checkbox"/> 男女共同参画 <input checked="" type="checkbox"/> 子ども <input type="checkbox"/> 情報化社会 <input type="checkbox"/> 科学技術 <input type="checkbox"/> 経済活動 <input type="checkbox"/> 職業・雇用 <input type="checkbox"/> 消費者保護 <input type="checkbox"/> その他 ()
協働を希望する担当	*この事業は、さいたま市のどの担当と協働を希望しますか？ 障害政策課・子育て支援政策課・市民協働推進課
マッチングファンドの申請回数 (前回の結果)	*マッチングファンドの申請は何回目ですか。回数をお答えください。 また、過去にマッチングファンドの利用実績がある場合は、前回の助成事業の振り返り(効果・成果)を記入してください。 2 回目(前回助成を受けた年度: 令和3年度) 会場とオンラインのハイブリット開催することで、より多くの子育て世帯と共有することができ、孤立化防止につながった。ボランティアを通じて障がい児と健常児がともに過ごすことで相互理解が深まった。来場者415名 ライブ配信再生回数1,156回 最大当時接続数 105回
対象者	*この事業は、誰を主な対象に実施しますか？ 障がいのある子もない子もその家族もみんな
実施期間	*この事業は、いつからいつまでに実施しますか？ 令和 4 年 5 月 ~ 令和 5 年 1 月
総事業費	*この事業は、いくら資金が必要ですか？(そのうち助成金はいくらですか？) 608,000 円 (助成金交付申請額 488,000 円)
事業のテーマ	*市が募集するテーマに限り、この事業のテーマを記入します。

団体名	特定非営利活動法人子育て応援隊むぎぐみ
-----	---------------------

1 現状における課題と事業の目的

*この事業は、何を課題としてとらえましたか？（課題：地域や市民等にある解決が必要な事柄）

・コロナ禍が長期化し、子育ての孤立化はますます深刻である。子育てイベントの開催も少なく、子育て世帯が情報を得る場所も少ない。感染リスクを考え、出かけることに躊躇する家庭も増えていることが昨年度の開催で実感した。安心して出かけられる場所、出かけられなくても情報が得られ、交流のできる場所が必要である。

*この課題に対し、行政（国、県、市）が実施している施策をどう考えましたか？

コロナ禍のイベントでは、制限を設けなければならない。人数、時間、距離、消毒と参加者を制限せざるを得ない状況である。制限を守ることができない子ども達を取り残されることのないよう、オンラインイベントを活用していくべきと考える。行政もオンラインイベントの開催を実施するようになったが、まだまだ数は多くなく、制限を設けての実施が多いと感じる。

*この事業は、何を目的に設定しましたか？

（目的：課題に対応して何をを目指すのか。課題が解決したときの、地域や市民等が得られる理想の姿。）

コロナ禍の長期化でますます孤立していく子育ての中、障がい児や健常児を含めた子育て世帯をはじめ、入院中の方や自宅療養中の方、免疫力が弱く外出を躊躇する方などには、オンライン配信によって、良質な音楽や私共の活動を知らせていくことで繋がりを持つ効果があると実感できた。子育て中に起こりうる困りごとを相談する場があるなどの情報を得ることで、孤立することなく地域や社会と繋がるきっかけとなり、子どもたちの健全なる育成に寄与する。

2 事業の具体的な内容

*この事業は、どんな手段で課題を解決しますか？（いつ、どこで、だれが・だれに、なにを、どうするの視点で）

※目的を達成するための事業が複数ある場合には、事業②の欄を追加（挿入）してください。

事業①の事業名	Shining Hearts' Party 20
いつ（ごろ）	2023年1月15日（日）
どこで	さいたま市文化センター 大ホール 及び YouTubeLive配信
だれが（主体） だれに（対象）	（主体） 特定非営利活動法人 子育て応援隊むぎぐみ・協働相手の所管課 （対象） 障がいのある子もない子もその家族もみんな
なにを	良質な音楽とバリアフリーな場所
どうする	ボランティアスタッフと賛同してくださるアーティストの皆さまと協力し、会場（リアル）と配信（オンライン）のハイブリット開催をする。

※パソコンで作成される方で、記入欄が不足して書ききれない場合は、行を追加してください。手書きで作成される方は、別紙に記入して添付してください。

団体名	特定非営利活動法人子育て応援隊むぎぐみ
-----	---------------------

3	事業により期待できる成果・効果
<p>*この事業が、直接的に達成できることは何ですか？また、その達成できたことによって、地域や市民にどんな良い影響がありますか？ (団体、市、参加者など事業に携わるすべての人に波及する成果、効果を書いてください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい児とその家族が我慢や遠慮をすることなく、音楽を体感することができる。立ち上がったも声を出して歌っても注意されず、途中で退出を促されることもなく音楽を安心して最後まで楽しむことができる。 ・障がい児と健常児が同じ空間で良質な音楽を体感することで、お互いの理解を深めることができる。 ・孤立しがちな子育てに情報の提供や相談できる仲間や場所があることを伝えられる。 ・子育て中に起こりうる困りごとを相談する場があるなどの情報を得ることで、孤立することなく地域や社会とつながるきっかけとなり、子どもたちの健全なる育成に寄与する。 ・オンライン配信することで、免疫力が低い方や入院している方、コロナ禍で自宅に待機せざるを得ない方にも音楽を届けることができる。 ・さいたま市でこのようなオンラインコンサートを開催することで、先進的な事例として全国的な取組として波及していくことも考えられる。 	

4	この課題に関連した、団体のこれまでの取組や特性
<p>*この課題に関連して、団体が今までに取り組んできたことはどんなことですか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本コンサートは19回継続しているコンサートであり、出演者もスタッフボランティアで構成されている(オンライン配信を行うにあたり令和3年度にマッチングファンドを利用)。 ・障がい児を育てている保護者に対する講演会の実施。就労支援、不登校・引きこもり支援、子育て全般のアドバイスを定期的に開催している。 ・テーマ、チラシ、舞台装飾、手話などをボランティアで企画し運営している。 ・毎年出演して下さっているアーティストの方や趣旨に賛同して下さるゲストを迎えて開催している。 ・障がい児と健常児と一緒に手話を行い、当日舞台発表している。 ・チラシをボランティアの手で配布を行っており、下記の配布協力を得ている。 <ul style="list-style-type: none"> 埼玉県教育局の協力により県内のさいたま市近郊の特別支援学校全児童配布 さいたま市教育委員会の協力により市内小中学校の特別支援学級及び近隣小中学校全児童配布 協賛の花まるグループ在籍者へ配布 さいたま市の協力(令和3年度マッチングファンドを利用)により市内コミュニティ施設、障害児サービス事業所、子育て支援関連施設、公立保育園、公共施設などで掲示・設置 	
<p>*この課題に関連して、団体もつ強みや生かせるノウハウはどんなことですか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当団体は子育て支援・発達療育支援・相談支援・コンサートと4つの部門で活動している団体であり、地域の子育ての支援を日々行っている。親子で参加できるおみそ作りや社会、理科の特別教室、臨床心理士・公認心理師による療育支援、不登校や家族問題の心理相談など、子育て中に起こりうるさまざまな問題に対して、利用者に継続的に寄り添い、居場所を提供することができる。 	
<p>*この課題に取り組む団体の思い(熱意・姿勢)はどんなことがありますか？</p> <p>障がいのある子もない子もその家族もみんながあるがまま、自由に参加できるコンサート。その運営や出演は趣旨に賛同したボランティアの手によって作られていること、今回は20回、20年間継続できていることを一人でも多くの方に知ってもらいたい。このような活動があることで、孤立しがちな現代の子育てに悩む保護者、障がいをもつ子を育てていくことの不安に悩む保護者の方々が地域や社会との繋がるきっかけとなり、最終的には子どもたちの健やかなる成長に貢献していきたいと考える。また、コロナ禍で開催を取りやめるのではなく、何か方法がないかと知恵を出し合い継続してきたことや、困難な時もあきらめず今後も続ける姿勢を示すことによって、人々に希望を与えられたらと願っている。</p>	

※パソコンで作成される方で、記入欄が不足して書ききれない場合は、行を追加してください。手書きで作成される方は、別紙に記入して添付してください。

団体名	特定非営利活動法人子育て応援隊むぎぐみ
-----	---------------------

5	市との協働に期待すること
---	--------------

*この事業は、さいたま市のどの担当と協働を希望しますか？（再掲）

障害政策課・子育て支援政策課・市民協働推進課

*この事業における、市との協働の意義、協働の内容はどんなことですか？

昨年、市報やさいたま市のHPなどを利用した広報面で行政と協働していただき、新たな広報活動ができたと考えている。募集期間が感染拡大の時期に被ってしまい、ボランティアや手話歌の参加者は伸び悩んでしまったが、ハイブリットイベントを協働で行うことで、子育て家庭への支援という目的は一致しており、同じ意義をもって活動を行えると考えている。また、今年度会場からのオンライン配信を行いながらコンサートを開催し、より幅広く繋がりをもつことができ、ますますオンラインの重要性を感じた。行政もオンラインイベントの開催をしているが、ニーズはさらに増えているので、公共の事業として実施していく意義があると考えます。

*この事業に関して、市と協働するにあたって、どんなことを協力、支援、実現してほしいですか？「 」に具体的に書いてください。

■市が持つ人的（ノウハウ等）資源による協力・支援	■市が持つ施設などの資源による協力・支援
「 各関係部署との連携（チラシ配布や設置） 」	「 」
「 」	「 」
「 」	「 」
「 」	「 」
「 」	「 」
■市が持つ発信力・情報(提供)の資源による協力・支援	■その他
「 市報・webによるイベントの周知 」	「 」
「 市報・webによるイベントスタッフ、出演者の募集 」	「 」
「 」	「 」
「 」	「 」
「 」	「 」

6	助成終了後の事業展開
---	------------

*この事業は、マッチングファンド助成終了後（※）にどんな事業展開を考えていますか？

※特に翌年度以降の継続性、協働や自立事業への見込みなどについて記入してください。

翌年度以降も会場（リアル）と配信（オンライン）のハイブリット形式でコンサートの継続を予定しております。会場から安定したオンライン配信を継続するために、団体の賛助会員数を増やし、賛同して下さる個人や企業の方から寄付を募り、自主事業として実施していきたいと考える。今後も行政と連携を図り、より一層地域の子育て支援に貢献し、自主事業としてコンサートの継続ができるように考えている。

※パソコンで作成される方で、記入欄が不足して書ききれない場合は、行を追加してください。手書きで作成される方は、別紙に記入して添付してください。

団体名	特定非営利活動法人子育て応援隊むぎぐみ
-----	---------------------

7	事業の詳細な計画
事業①	Shining Hearts' Party 20
<p>* 事業の計画はどのように考えていますか？ 準備、活動、振り返り等について、体制、実施する時期、どこで、だれが（参加者の属性や人数などを含む）等具体的に何を行うか記入してください。 ※目的を達成するための事業が複数ある場合は、事業②の欄を追加（挿入）してください。</p>	
実施時期	実施内容
5月	5月中 コアスタッフMTG ①昨年度の反省点など振り返り②運営スタッフ募集について ③広報や市との連携について ④年間スケジュール確認
6月	6月12日 第1回運営MTG①自己紹介②テーマ決め③ShipKids手話歌の課題曲決め 6月中 出演依頼/チラシ・手話歌イラスト・パンフレット作成依頼/ブース依頼など
7月	7月17日 第2回運営MTG①来場者プレゼント案決定（手作り楽器・しおり） ②舞台・ホワイエ装飾③担当別作業確認 7月中 出演者確認/後援申請
8月	8月中 コアスタッフMTG ①20周年について ②ボランティア募集について ③各担当業務について
9月	9月25日 第3回運営MTG①担当ごとに作業及び報告 9月中 趣意書作成/文化センター情報誌・HP依頼 ShipKids・ボランティア募集市報掲載
10月	10月30日 第4回運営MTG ①担当ごと作業及び報告 ②ShipKids顔合わせ（オンライン又はリアル）
11月	11月20日 第5回運営MTG①チラシ仕分け②担当ごとに作業及び報告 ③ShipKids練習日 11月中 JASRAC許可申請/ホワイエブース出店団体連絡 11月下旬 さいたま市教育委員会・埼玉県教育局チラシ持ち込み
12月	12月11日 第6回運営MTG①担当ごとに本番に向けて各所に確認連絡 ②ShipKids練習日 12月上旬 当日スケジュール/当日配置など 12月下旬 舞台打合せ
1月	1月12日 インターネット回線工事及び回線テスト 1月15日 本番

※パソコンで作成される方で、記入欄が不足して書ききれない場合は、行を追加してください。手書きで作成される方は、別紙に記入して添付してください。

団体名	特定非営利活動法人子育て応援隊むぎぐみ
-----	---------------------

8 事業の実施体制		
* 団体において、事業の実施に関わる人はだれですか？この事業における具体的な役割と併せて記入してください。 ※事業を実施する際に中心的な役割を担う人を10名以内で記入してください。		
氏名	団体における役職等	この事業における役割
		コンサート責任者
		協賛会社との連絡窓口
		ボランティア・出演者窓口
		経理・オンライン・各関係窓口
		講演会窓口
		来場者プレゼント・舞台装飾等
		来場者プレゼント・舞台装飾等
		来場者プレゼント・舞台装飾等
		来場者プレゼント・舞台装飾等
		来場者プレゼント・舞台装飾等
		来場者プレゼント・舞台装飾等
	来場者プレゼント・舞台装飾等	
		来賓対応

9 他団体との連携状況	
* この事業は、他団体と連携(※)していますか？またはその見込みはありますか？ ※企業、学校、地域の団体（自治会、PTA等）、NPO、ボランティア団体等と連携して事業を実施する場合には、その協力関係を記入してください。	
協働：さいたま市 障害政策課・子育て支援政策課・市民協働推進課	
協賛：花まる学習会/スクールFC/アノネ音楽教室	
後援：埼玉県教育委員会/さいたま市教育委員会/さいたま市（障害政策課ノーマライゼーション推進係） 社会福祉法人さいたま市社会福祉協議会/肢体不自由を育てる親の会『すてっぷはばいすてっぷ』	
チラシ配布協力：埼玉県教育局財政課/さいたま市教育委員会特別支援教育室 さいたま市障害政策課・子育て支援政策課・市民協働推進課/花まるグループ	
ホワイエ出店団体：NPO法人くれおん/アノネ音楽教室/NOT≠EQUAL/花まる学習会/ARTのとびら	
写真展示会：上原治雄様	

※パソコンで作成される方で、記入欄が不足して書ききれない場合は、行を追加してください。手書きで作成される方は、別紙に記入して添付してください。

事業収支計算書（計画、交付申請、変更、実績）

<収入>

単位：円

区分		算出根拠	金額
収入合計（A）		(a) + (b)	608,000
自己資金額（a）		①～⑥の合計（d）と同額	120,000
団体の自己資金	① 自己資金		50,000
	② 協賛支援金		70,000
	③		
費用の徴収	④		
	⑤		
	⑥		
助成金交付申請額（b）（助成金収入・100万円以内）		(c) と同額	488,000

<支出>

区分		算出根拠	金額	
支出合計（総事業費）（B）		(c) + (d)	608,000	
助成対象経費のうち 助成金限度額を 上回らない経費	① 使用料	施設及び付属設備利用料総額 210,000円の内90,000円	90,000	
	② 委託料	舞台装置人件費123,000円 Youtube配信220,000円	343,000	
	③ 役務費（通信運搬費等）	仮設ネット回線設置費用55,000円	55,000	
	④			
	⑤			
	⑥			
	⑦			
	⑧			
	⑨			
	⑩			
助成金充当経費計（c）		①～⑩の合計（b）と同額	488,000	
助成対象経費のうち 助成金限度額を 上回る経費	⑪ 使用料	施設及び付属設備利用料 助成金限度額上回る分120,000円	120,000	
	⑫			
	⑬			
	⑭			
	助成対象外経費 事業に附随して 必要な経費 〔(c)の10%以内〕	⑮		
		⑯		
		⑰		
	助成対象外経費 事業に附随して 必要な事務局 人件費	⑱		
		⑲		
		⑳		
自己資金充当経費計（d）		⑪～⑳の合計（a）と同額	120,000	

※(A)=(B)、(a)=(d)、(b)=(c)となるように記入してください。

助成金限度額計算書

単位：円

自己資金を3倍にした金額(e)		=(a)×3	
金額(合計)	算出根拠[自己資金の3倍の金額+労力換算額]		
360,000	120,000	×	3 倍

労力換算額(無報酬で事業に参加する市民の労力を金額に換算した金額)(f) =1~10の計			
金額	算出根拠		
200,000	番号	事業の実施時期・内容 算出根拠[人数×時間×500円]	金額
	1	6月12日 ・ 運営スタッフミーティング 20 人 × 2 時間 × 500 円	20,000
	2	7月17日 ・ 運営スタッフミーティング 20 人 × 2 時間 × 500 円	20,000
	3	9月25日 ・ 運営スタッフミーティング 20 人 × 2 時間 × 500 円	20,000
	4	10月30日 ・ 運営スタッフミーティング 20 人 × 2 時間 × 500 円	20,000
	5	11月20日 ・ 運営スタッフミーティング 20 人 × 2 時間 × 500 円	20,000
	6	12月11日 ・ 運営スタッフミーティング 20 人 × 2 時間 × 500 円	20,000
	7	1月15日 ・ 本番 20 人 × 8 時間 × 500 円	80,000
	8	人 × 時間 × 500 円	自動計算
	9	人 × 時間 × 500 円	自動計算
10	人 × 時間 × 500 円	自動計算	

助成金限度額(Z)		=(e)+(f)	
金額(合計)	算出根拠[自己資金の3倍の金額+労力換算額]		
560,000	360,000	+	200,000

助成金交付申請額(b)	≤	(Z) 助成金限度額
488,000 円	≤	560,000 円

※助成金の限度額は、1,000,000円です。

無報酬で事業に参加する市民の誓約シート

事業の実施時期・ 内容の番号	氏名 注 署名によらない場合は押印してください	住所
1～7		
1～7		
1～7		
1～7		
1～7		
1～7		
1～7		
1～7		

- * 助成金限度額計算書（別紙2の2）で記入した「事業の実施時期・内容」の番号に合わせて、無報酬で事業に参加する方の氏名・住所を記入してください。
- * 実績報告書に添付する際は、氏名欄に参加者の自署または記名押印をしてください。
- * 記入欄が不足する場合には、当誓約シート（別紙2の3）を追加してご記入ください。

団体概要

(ふりがな) 団体名	とくていひえりかつどうほうじん こそだておうえんたい むぎぐみ	
(ふりがな) 代表者	たかはま まさのぶ 高濱 正伸	
連絡責任者	(ふりがな)	
	氏名	
	住所	
	電話/FAX	
	E-mail	
設立年月日	平成 20 年 10 月 29 日	
団体の目的	当法人は発達障害およびその周辺児童、またその保護者、子育て中の保護者に対し、学習支援活動と、教材作成事業を行い、更に子育て中の保護者には情報交換の場を提供する活動を行い、発達障害およびその周辺児童と保護者には学習成果を共感させ、子育て中の保護者には世の中との連帯感を共にすることで共に子供たちの健全なる育成に寄与することを目的とする。	
会員数	個人会員 85 名	団体会員 2 団体
さいたま市内における 主な活動内容	当団体は、4つの部門が活動しており、子育て支援では親子で参加のできるおみそ作りや宿題応援企画、子育て中の保護者同志が気軽にしゃべりできるサロンを開催。発達療育支援・相談支援では発達に偏りのあるお子さんへの専門スタッフによる療育支援。相談部門では臨床心理士による不登校や様々なご相談をうけ、子育てに寄り添う活動を行っております。	
団体の財政規模	本年度予算 (令和 3 年 4 月 ~ 令和 4 年 3 月)	
	<収入の部>	
	会費収入 223 千円	事業費 12,320 千円
	寄附収入 400 千円	管理運営費 313 千円
	事業収入 12,369 千円	その他支出 0 千円
	その他収入 495 千円	
	計 13,487 千円	計 12,633 千円
	前年度決算 (令和 2 年 4 月 ~ 令和 3 年 3 月)	
	<収入の部>	
	会費収入 105 千円	事業費 9,470 千円
寄附収入 13 千円	管理運営費 322 千円	
事業収入 9,253 千円	その他支出 0 千円	
その他収入 263 千円		
計 9,634 千円	計 9,792 千円	
添付書類	<input type="checkbox"/> □ (四角) に <input checked="" type="checkbox"/> (チェック) を入れてください。 <input checked="" type="checkbox"/> 定款又は会則等 <input checked="" type="checkbox"/> 正会員の名簿ならびに最新の役員名簿 <input checked="" type="checkbox"/> 令和3年度の団体の活動予算書 <input checked="" type="checkbox"/> 直近1事業年度分の活動計算書(収支計算書) <input type="checkbox"/> 成年被後見人等に該当しないことを確認した旨の書面(任意団体のみ) <input type="checkbox"/> 団体目的等についての確認書(任意団体のみ) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (過去のコンサートに関する資料)	